

令和5年度 江尻幼稚園 学校関係者評価委員会

令和6年3月28日

1、幼稚園の教育目標

健やかな体と豊かな心

- ・心身ともに健康で、いきいきと遊ぶ子
- ・思いやりの気持ちをもった、優しい子
- ・自分の思いを素直に表現できる子
- ・興味や関心を持ち、自分で考える子
- ・最後までやりぬく子

2、本年度の重点目標

子ども同士のつながりを大切に育てよう

- ・疑問に思ったことや自分の思ったことを友達に聞いたり伝えたりしながら、解決策を探る力を育てる
- ・遊びの中から生まれる縦のつながりを大切にし、関わりを深めていく

3、自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

(※評価点は A (十分達成されている) B (達成されている) C (取り組まれているが成果が十分でない) D (取り組みが不十分である) の四段階で表す。)

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
保育の計画性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・週日案をもとに、活動を振り返り反省し、次につながるよう日々の計画を立ててきた。 ・遊びの様子から、次の日の保育を組み立てたり準備したりすることは意識できた。 ・こんな活動をしたいという気持ちから活動内容を考えるが、実際に準備が間に合わず、取り入れられないこともあった。計画性をもつことが弱かったと思う。 ・学年で計画していることやどんな思いをもってやっていきたいか等、話し合いの場で考えを共有できたのは良かった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、こまめにやっているが、建物の強度は大丈夫か。ハザードマップでは津波区域になっていないが、想定外の事が起こった場合も考えて、国際高校とは連携を取りながら、訓練を実施して欲しい。 ・ハザードマップ上は大丈夫だが、保護者のアンケート結果を見てみると、不安を感じている保護者も多いと思う。広報が必要かもしれない。 ・X (ツイッター) の頻度は、頻繁で、直ぐにアップしてくれていてうれしい。園便りも以前と変わって、

		<ul style="list-style-type: none"> ・乳児から幼児へ進級することを踏まえ、幼児クラスや満3歳クラスとの交流を年間通じて計画に組み込んでいくと良い。 ・子ども達の食への興味関心を広げ「食べること」を楽しみ、主体的に食と向き合っていけるよう、年間を通じて食育を計画できた。 		<p>先生たちの努力が感じられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと SNS で発信して欲しいという保護者意見があったが、職員が負担にならないよう、小学校のように、PTA に写真撮影を頼んだり、協力を依頼してみたりしてもいいのではないかな。 ・研修については、園内の研修も年間計画を立てよくやっていると思われる。厳しく評価している項目があるが、今後への課題を含めてと捉え、来年度に生かして欲しい。 ・評価項目の細かい自己評価も資料としてあったほうが、実態としてわかりやすい。 ・園で色々な野菜を育ててもらい、多くの野菜が食べられるようになった。食育は今後もぜひ続けて欲しい。 ・幼稚園の雰囲気も良く、安心して子どもを送り出せている。 ・コロナが明け、行事もできる限り行ってもらえてよかった。先生たちが忙しい中、頑張ってくれていた。 ・親の不安を先生たちが一つ一つ解決してくれる。色々な保護者の意見があり捉え方も様々だが、良い園だと感じている。 ・ベテランの先生も多く安心して預けられた。園の雰囲気は変わってきたが、新任の先生たちの新しい意見もうまく融合し時代に合わせ、教師間で共有して欲しい。 ・要望に対しては、どのように対応しているか。
保育の在り方 幼児への対応	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの頑張りや、良い姿などをクラス全体で認め合えるような環境作りを大切にしてきた。 ・新しいことや、やり方を変化させ、子どもが挑戦する機会を作り、自らやってみようと思えるように活動を工夫して行うことができた。 ・個別の関わりや配慮が必要な子も数人おり、全員にとって十分な対応をすることの難しさも感じた。 ・言葉かけや対応が適切であったかどうか、不安に思った時は他の職員に意見をもらうようにしている。自分では良いと思っている行動が、時に不適切な場合もあると思うのでアンテナを高く張るよう注意している。 ・異年齢の交流を計画的に行い、小さい子を思いやる心や、大きい子への憧れが芽生え子どもの育ちにつながった。 	B	
教師としての資質 能力、良識、適性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの言動の裏にどんな思いが込められているのか、内面について常に考えるようにしている。どんな援助をすれば、その子の成長につながる関わりができるのか、知ろうとする、調べてみることの繰り返しを今後も続けていきたい。 ・自分では気づかないことに、先輩保育者は目を向けたり、声かけをしていたりと、自分の知識不足、経験不足を感じ 	A	

		<p>た。専門書を読み、学びを深めていながら、保育者としての能力を高めていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育だけでなく、社会の出来事にも目を向け、情報収集を行い、保育に関する知識や技能の向上もしていきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の一斉退職等の報道もあるが、保護者の評価も良い評価を聞いてよかった。一番の評価だと思う。
保護者への対応	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から相談を受けた際、できる限り顔を合わせて答えるようにした。直接答えることで、保護者の悩みに寄り添い、間違った解釈を防ぐことにもつながり、保護者との関係を築きやすくなったと感じた。こちらから伝えたいことがある時は、提案する気持ちで伝えることを心掛けた。 ・安心して預けることができる場となるよう、日頃の子どもの様子や保育において大切にしている所を、クラスだよりや SNS にあげることを意識した。 ・子ども達が毎日過ごしている保育室にも足を運んでもらう機会を増やし、園での生活を肌で感じてもらえるような工夫もしていきたい。 	A	
地域の自然や社会との関わり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩に行く際には、地域の方々に笑顔で挨拶し、近隣の方々の関係性を大切にするよう心掛けた。 ・子ども達の力で歩いて行ける距離の散歩場所を今後も検討していきたい。 <p>(現在は、魚町神社、江尻小学校、清水銀座、巴川付近、小芝神社、鋳物師町公園、小芝3丁目自治会館等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園時、正門前の交通整理を行っているが、近隣の方々の走行に迷惑とならないよう、周囲に目を配り安全確認をしながら、園児の引き渡しを行っている。 ・コース別の降園やお散歩では、交通ルールや安全な歩行に自ら気付いていけるような学びの場になっている。 	A	

教職員の研修と研究	B	<ul style="list-style-type: none"> ・短期的ではなく、継続的な研修テーマを挙げたことで、子ども一人ひとりの理解が発達への手立てとして収穫となった。 ・0～5歳児までの保育、個に応じた学びに連続性を持たせていけるようにしたい。話し合いをするにしても保育の土台となるところの理解・共有がなければ職員の考え方により方向性が変わって、ずれが生じてしまうので、今一度、職員全体で保育計画を見直し、共有していきたい。 ・乳児職員と幼児職員、合同の研修の場が必要、時間の確保が今後の課題である。 	B	
保護者アンケート	A	別紙記載	A	